

2021年度決算と 2023年度保険料率のお知らせ

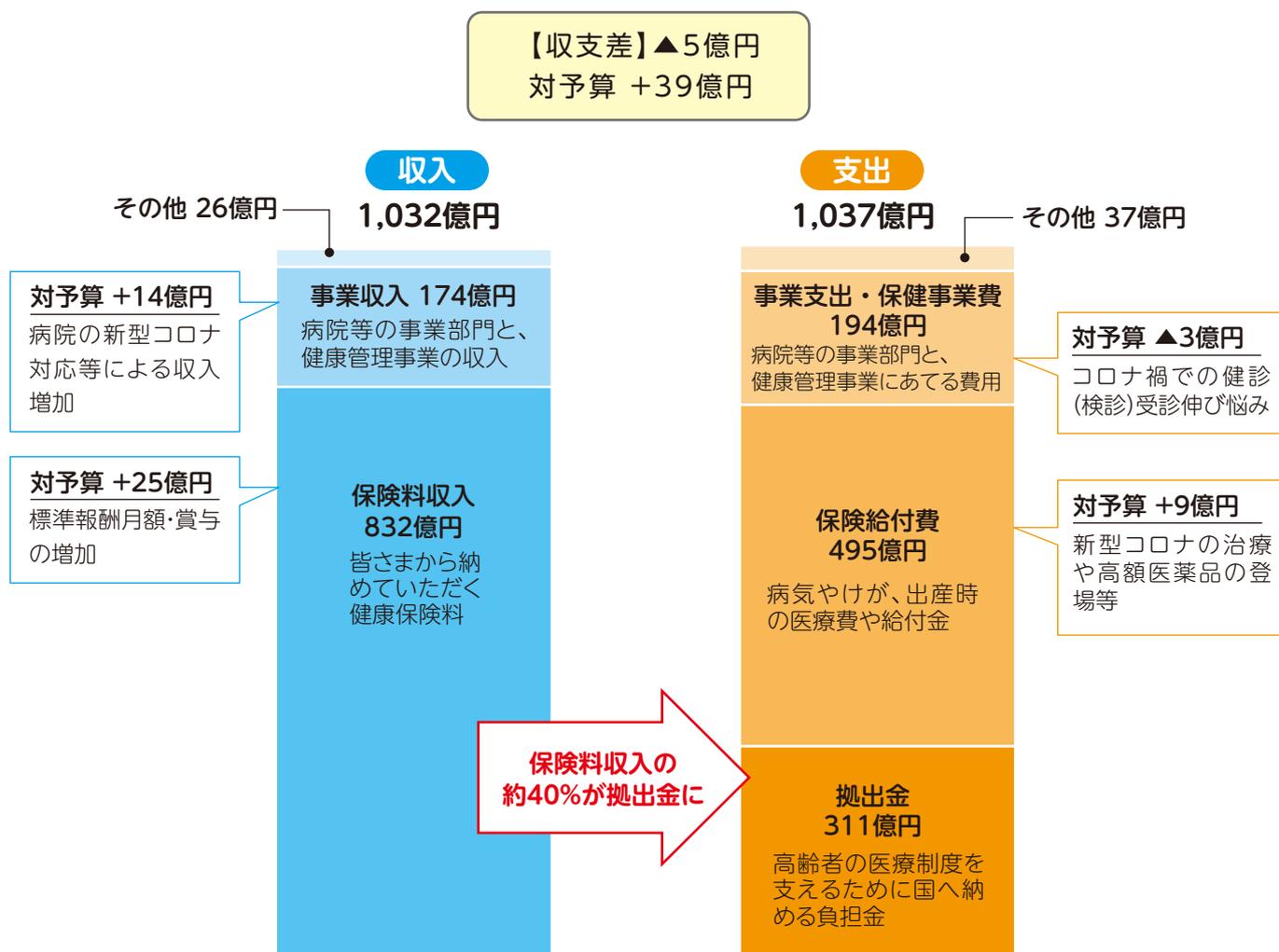
2022年8月3日に開催された組合会で、2021年度決算と2023年度の健康保険料率・介護保険料率が承認されました。

2021年度決算について

●健康保険

2021年度は予算44億円の赤字に対して、5億円の赤字となりました。

新型コロナの治療や高額医薬品の登場等で医療費が増加したものの、標準報酬月額や賞与の増加で保険料収入が増加したため、予算よりも赤字幅が縮小しました。



●介護保険

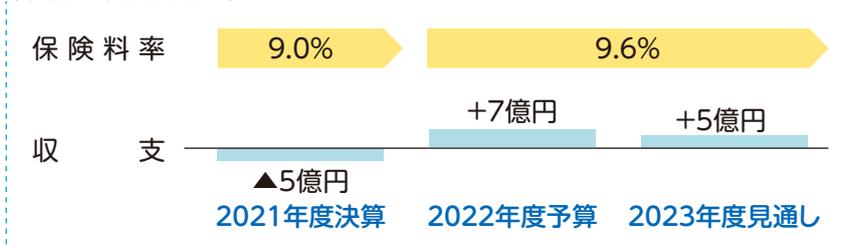
2021年度は、収入126億円、支出109億円、収支差17億円の黒字となりました。

2023年度保険料率について

●健康保険料率

現行	9.60%	±0%	2023年4月～
事業主	5.79%		変更なし
本人	3.81%		

〈今後の収支見通し〉



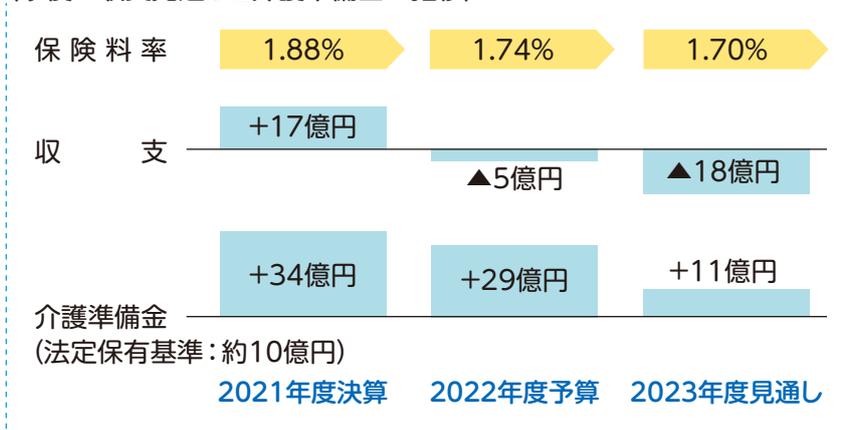
2023年度は収支均衡が見込まれるので、健康保険料率は2022年度から据え置きます。



●介護保険料率(40～64歳の被保険者対象)

現行	1.74%	▲0.04%	2023年4月～	1.70%
事業主	0.87%		事業主	0.85%(▲0.02%)
本人	0.87%		本人	0.85%(▲0.02%)

〈今後の収支見通しと介護準備金の推移〉



2022年度予算は赤字なのに保険料率を引き下げても大丈夫?

2023年度は保険料率を引き下げても法律で定められた額の介護準備金(積立金)を維持できるので大丈夫だよ。



▼事業主・被保険者への介護保険料率改定の影響

	現役従業員 給与 44 万円、年間賞与 170 万円のケース		特例退職被保険者 標準報酬月額 28 万円のケース
	事業主	本人	本人のみ
毎月	▲88円	▲88円	▲112円
賞与	▲340円	▲340円	—
年間合計	▲1,396円	▲1,396円	▲1,344円